

われわれの病院・診療所は  
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス  
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院  
船橋二和病院健康友の会  
〒274-0805  
千葉県船橋市二和東5-1-1  
TEL 047(448)7111(病院)  
TEL 047(449)4417(健康友の会)  
発行責任者 宮野 暁  
月一回発行 1部 50円

特別寄稿

# 『友の会と歩んだ50年』

高橋 稔 医師 (船橋二和病院初代院長)



船橋二和病院初代院長 高橋 稔 医師

船橋二和病院の開院以来42年間、南浜病院時代も含めると55年間お世話になりました。友の会との最初の出会いが南浜時代の1973年なので友の会とは50年一緒でした。今日まで頑張れたのは、友の会の皆さまの支えと励ましがあったからです。本当にありがとうございました。

## 「ふれあい新年号」の詩に込めた思い

二和病院・健康友の会ニュース「ふれあい」の正月号には、約20年にわたって写真入りの詩を書かせていただきました。写真は友の会の会員さんや職員の仕事から選ばれていましたね。私は、作者がその写真にこめた思いに出来るだけ近づけるように詩を書きました。もちろん私の思いも重ねています。私の思いは、友の会と一緒に頑張っていることと自分に言い聞かせる思いでした。正月の大事な紙面の一ページを使わせていただき感謝です。

## 南浜病院の運営委員会が友の会のルーツ

私が医学部3年の時、地

域で行われた健康診断に参加し、そこで「お金のあるなしで医療に差をつけてはいけない」(奥山順三医師)とする医療機関があることを知りました。そのことに感銘を受け、1968年に医師国家試験に合格すると同時に、船橋市内の民医連・南浜病院(現南浜診療所)に飛び込みました。その南浜病院誕生の話です。戦争中に東京大空襲から避難してきた人たちが船橋の海岸に集団で住みました。衛生状態も悪く伝染病など病気がはやる中で、この地域に診療所がほしいと願う住民たちが医者を探し、建物を探し、その地域ので1948年南浜診療所がつけられました。後の南浜病院です。

## 友の会誕生秘話

やがて診療所は25床の病院となり、軌道に乗っていると、診療所の運営は委員会から診療所にお任せになっていきました。病院が地域から離れそうになっていったのです。

友の会との出会いが1973年と言ったのは、病院を地域に根差した病院に戻そうと「友の会の準備の会」が作られた年なのです。入社して5年目の時でした。3年後の1976年に準備会は「南浜病院友の会」になりました。後にこの「南浜病院友の会」から「二和病院健康友の会」が生まれてくるのです。

## 医療過疎地への新病院建設方針

1972年、千葉民医連長期構想「経営の統一とセンター病院建設」が決まり、1976年に千葉市に待望のセンター病院「千葉健生病院」が誕生しました。ほごなく船橋の新病院建設も決まりました。

その頃の船橋は、船橋中央病院、済生会船橋病院がありました。また医療センターもなく、特に、新京城沿線は病院がありませんでした。前原・高根台・習志野台団地が次々と建設され、人口も急増し医療過疎の状態で、救急車も受け入れ病院がないという深刻な

## 友の会 社会保障部主催学習会

### マイナ保険証の一本化のねらいと現場からみた課題

12月1日(金)の午後、ふたわ診療所専門外来待合室にて学習会を開催しました。講師として千葉県保険医協会から2名の方をお招きし、53名(友の会34名、職員19名)の参加者が集いました。



#### ◆マイナ保険証の利用は1%程度

冒頭、ふたわ診療所医事課主任の近藤さんから、窓口の混乱状況や、窓口負担が10割になるデメリット事例、ふたわ診療所のマイナ保険証の利用が1%にとどまっているなど、現場の報告がありました。

#### ◆「なりすまし行為」「暗証番号失念」など数々の懸念

講師の方からは、現行の顔認証システムの脆弱性により、容易に「なりすまし行為」ができたり、マイナンバーカードの暗証番号の取り扱いをめぐって社会問題に発展しているなどの問題点の指摘がありました。また、医療機関のシステム導入の費用負担が増加し、歯科医や小さな医院などが閉院に追い込まれ、地域医療の崩壊を招いている状況も報告されました。

#### ◆現行保険証を残す運動を強めましょう

政府のやり方は患者さんや現場と向き合わず、乱暴であまりに拙速です。現行保険証の廃止とマイナ保険証一本化にこだわる政府の姿勢には疑問を抱かざるを得ません。現行保険証廃止をやめさせることはまだ間に合います。安心して受診できるよう力を合わせて運動していきましょう。

船橋二和病院管理部 田中順一

状態だったため、新病院建設は新京城沿線、二和向台に決まったのです。

## 「自分たちの病院をつくらう」との友の会の奮闘に支えられて

1977年、「船橋新病院建設委員会」が発足、場所探し・資金の募集・新病院の医療目標作りがはじまりました。委員会は新京城沿線に住んでいた「南浜病院友の会」の会員が中心になり、「新病院に何を求めるのか」の調査を始めました。各団地自治会も「新病院に期待するアンケート調査」をしてくれました。船橋市民生協の組合員さんは

ペーパー健診で地域の健康状況を調べました。それら

の運動によって新病院への地域住民の要求がまとめられたのです。要求・願いの第一位は「いつでも診てもらえる救急外来」、第二位「多くの科がある総合的な病院」、第三位「親切で安心の出来る病院」でした。友の会の方々の「自分たちの病院を作ろう」との奮闘を大きな力にして新病院建設運動が進んだのです。

## これからも病院とともに地域の健康を守る力に

1979年、新病院建設工事が始まり、地域の運動の盛り上がりの中、1981年5月1日、船橋二和病院が開院しました。同時に「船橋二和病院健康友の会」

も発足し、初代会長は習志野台団地の鈴木堅太郎氏でした。

船橋二和病院は開院からまもなく43年目を迎えます。建て替えが焦眉の課題となつていますが、そのことも含め、これからも、健康友の会が船橋二和病院とともに地域の健康を守る者となつて歩んで下さることを願っています。

※2023年11月末をもって退職された高橋稔医師より友の会のみなさんへの思いを寄稿していただきました。高橋先生、長い間ありがとうございました。

高橋先生、長い間ありがとうございました。

(編集委員会)

生き生き友の会・地域の活動

友の会平和部企画

(東京都歴史教育者協議会主催企画に合流)

第五福竜丸展示館見学会

2024年2月18日(日)

13時30分開始～15時40分終了予定
<出発集合時間> 新京成「二和向台」駅 11時30分
<現地集合時間> JR京葉線「新木場駅」(直行の方はこちら) 改札口前 12時45分

<参加費> 500円
<企画内容>
○展示館見学
○学芸員の方の講演「ビキニ事件70年・核なき世界を」
○授業実践報告



<お申込み>

二和病院健康友の会事務局まで、電話・FAX・メールで
電話 449-4417 FAX 449-4427
メール futawa-tomo@min-iren-c.or.jp
当日連絡先 担当:永井 090-5349-2089

今回の企画は、東京都歴史教育者協議会(歴教協)が主催する研究集会の企画「ビキニ事件70年を第五福竜丸展示館から考える」に合流することになったものです。教育者の皆さまと一緒に学びましょう。

船橋市の健康診断は受けましたか?

送られてきた受診券を使わずにお持ちではないですか?
受診券に記載されている有効期限は過ぎていても
その受診券は、3月末まで使えます!
是非お申込み下さい。年度末は空いています。
(特定/後期高齢者/一般/がん検診...全ての受診券)

ご予約は 二和ふれあいクリニックへ
☎ 047(448)7118



職場紹介

産婦人科外来・3西病棟

3西病棟では、2023年は200人以上の赤ちゃんが誕生しました。産婦人科の手術も多く、週3回は定期的手術日で、それに加え緊急手術があることも、産婦人科病棟の特徴だと思います。新しいスタッフも多く加わり、さらに活気ある病棟になっています。



産婦人科外来運営も、病棟・外来同一看護体制で、師長・スタッフが病棟と外来を行ったり来たりしています。通院中から入院中、さらに退院後のフォローまで医師・看護スタッフの同じ顔ぶれがそろっているのはその為です。

3西病棟の患者様の層はとても幅広いです。女性限定ではありませんが、内科患者様の急性期(時には退院支援まで継続で)や検査・治療目的の入院、婦人科患者様の手術・化学療法などなど。そして産科では分娩と妊娠期の管理入院などをおこなっています。さらに新生児は小児科の医師が診察・治療にあたります。新人看護スタッフにとっては、学ぶ分野がとても広く、さらに専門的なことが多く大変かもしれません。

対面式となったマタニティクラスも、だれでも参加しやすい様に工夫しながら行っています。写真に協力いただいたママさんと赤ちゃん、ありがとうございます。



近頃の母子を取り巻く環境と私たちの支援について、次号に寄せたいと思います。

助産師 持木 葉

大穴・三咲



昨年12月14日(木)、ヨーヨーキルトでリースを作りました。準備も入れて3日間かかりました。当日参加された15名の皆さんは、リースが完成すると「なかなかの出来栄え」に感激、飾るところをどうするかと話がはずみました。きれいな仕上がりを皆で喜びあい本当に楽しい作品作りでした。

(大穴・三咲地区 佐藤アツ子)

法典



12月1日(金)、千葉市花見川区の花島公園紅葉散策に13名で行って来ました。JR幕張駅からのバスは終点の花島公園行なので超らくちんコースです。もみじが真っ赤で写真映えです。穏やかな天気で、皆さんの足取りも軽やかでした。桜の季節にもう一度来たいと思った散策でした。

(法典地区 初見政子)

高根台



12月14日(木)、「いつでも元気」読者会を開きました。8名の参加で体操をしたあと、記事を見ての各々自分の思いを出し合いました。特に男性2名の方が、昨今の海外での武力による紛争などの状況もあり、「9条の碑」の記事に触れて、平和への熱い思いを語っていたのが印象的でした。

(高根台地区 鯨井孝子)

二和



12月20日(水)の憩いの広場ではすいとん入りのおしるこで年納めをしました。14名が参加。二和病院が建つ前からの会員さんの貴重な話に懐かしくなる場面も。その後には歌やゲームで盛り上がりました。みんなで「おいしい」や「楽しい」を分かち合えるのは嬉しいことです。

(二和地区 斎藤文代)

男性の更年期障害について

三和医療講座

船橋二和病院 研修医 中本龍 医師



中本龍 医師 プロフィール
2年目初期研修医(新潟大学医学部卒)

多くのみなさんが、更年期障害は女性の病気というイメージをお持ちの方が多いいのではないのでしょうか。実はこの更年期障害、女性だけの問題ではありません。男性の更年期障害は40歳以降いつでもおこる

更年期障害とは、性ホルモンの減少によって様々な症状が起こり、日常生活に支障が出る状態を言います。「性ホルモン」というところがミソで、女性ホルモンの減少はもちろん、男性ホルモンの減少でも更年期障害

は起こります。さらに、女性は50歳前後の約10年間に起こるのに対し、男性では40歳以降どんな時期でも更年期障害が起こる可能性があります。また、人間関係などのストレスが影響することも分かっています。

更年期の症状は多岐にわたり、100種類以上あるといわれており、どの症状が出るかは人によって様々で、またその程度も人によって全く異なります。よくある症状としては、肩こり、疲れやすさ、頭痛、のぼせ、腹痛、イライラや気分の落ち込みなどがあります。ほかにも、糖尿病や肥満、骨粗しょう症などにも影響があるといわれています。これらの症状が女性では50歳前後に急激に出現し、男性では40代以降生涯に渡って続きます。

男性の場合はゆるやかに出現、きちんと治療すれば改善する可能性がある病気です。女性の更年期障害は認識しながらか、男性の更年期障害もきちんと治療することで改善する可能性のある病気です。歳のせいとあきらめてしまいう前に、ぜひ一度医療機関にご相談ください。